

おはなし給食

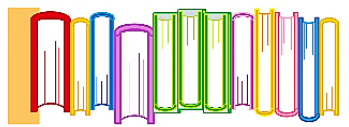
きゅうしょく



「はずかしがりやのれんこんくん」

二宮 由紀子 作 / 長野 ヒデ子・絵

どうしんしゃ
童心社

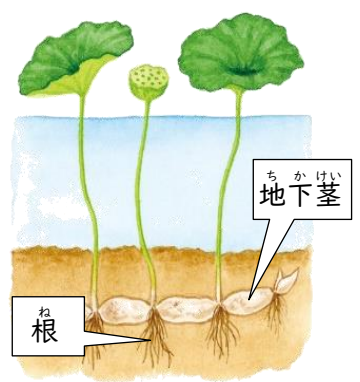


つき かい ほん なか どうじょう りょうり
月に1回、本の中に登場する料理を
きゅうしょく ていきょう
給食で提供します。

「はずかしがりやのれんこんくん」より

12/5 れんこんのからあげ

れんこんは漢字で「蓮の根」と書きますが、実際は根ではなく、
地下茎という茎の部分に栄養がたまって大きくなったものです。



蓮には、「食べる用」だけでなく、
「見て楽しむ用」があります。
給食では、れんこんにでんぷんをまぶし、
油で揚げています。れんこんのシャキシャ
キ、ホクホクとした食感を味わってください。

れんこんは「れんこちゃんのさがしもの(戸森しるこ・スケラッコ)福音館書店」
「れんこんのあな(松岡真澄)福音館書店」などいろいろな本にも出てきます。

～どんなおはなし?～

泥の中に住んでいるれんこんくんは、とってもはずかしがりやさん。
体に穴が空いているのがはずかしくて、なかなか外に出られません。
それを聞いた魚たちは、れんこんくんのいいところを考えはじめま
す。はじめは、れんこんくんのいいところが見つからないと言っていた
みんなですが...一つ見つけたり、二つ見つけたり、最後は...

おしえて! あな 穴のひみつ

なぜ穴が空いているの?

呼吸をするためです。
泥の中で育つれんこんは、穴を通して、酸素を取り入れるために水の上の葉とつながっています。

穴はだいたい何個くらいなの?

ほとんどのれんこんは真ん中に1個、周りに8~9個あります。

なぜおせちに入っているの?

れんこんの穴は、「将来を見通せる」という意味があり、昔から縁起が良い食材とされてきました。